

2. 妊婦へのタクシー利用料の助成について

質問 妊婦さんの移動支援については、一時的な緊急対策ではなくて、**神戸市の恒久的な事業**として何とか実施できないか。

答弁 効果や利用状況を見た上で、妊婦全体の施策の中での検討を行い、しっかりと議論したいと考えている。

要望

タクシー業界も乗車がかなり減って売上げが厳しい中、**どこのタクシー会社でも使える**、妊婦さんにもタクシー会社さんにもうれしい支援であってほしい。



3. 保育所の広域利用について

質問 今年度はパーク&ライド型の保育所が開所し、来年度に向けては**保育送迎ステーションの活用**が予定されている。保育所の広域利用を進めていく上で、今後の展望を伺いたい。

答弁 駅の周辺などの利便性の高い場所でお子さんをお預かりし、バスで保育施設まで送迎をする保育送迎ステーションの取組を、市内の3エリア（東灘区御影、中央区三宮、元町）で、令和3年4月開設をする予定になっている。

要望

駅近は大変人気があり、なかなか利用がしにくいですが、広域で少し離れたところになると、**定員に余裕があり園庭も広く、子どもたちにとって有意義な教育環境**になると思う。引き続き広域利用にも努めていただきたい。

神戸市の子育て情報

●子育て支援サイト「ママフレ」
 こうべのまちでの子育ての魅力や行政サービス、子育てマップなど、必要な情報が盛りだくさんのポータルサイト。


●こうべ子育て応援メール
 知っておきたい妊娠生活や育児のアドバイスなどが、タイムリーに届きます。（登録は、QRコードを読み取り、空メールを送ってください。）
 対象：妊娠中から3歳までのお子さんを持つ方とそのご家族


4. 子ども食堂への支援について

質問 子ども食堂を運営する団体からは、事業開始資金の確保や安定的な運営が難しいという声も伺っている。今後実施箇所を増やしていくためには、現在の神戸市の**補助制度のさらなる拡充が必要**と考えるが見解を伺いたい。

答弁 子ども食堂の運営には経済的な基盤が必要であり、利用しやすい支援制度にすることが非常に大事であることから、具体的な検討を今後も進めていきたい。

要望

今子どもの貧困が、子どもたちの7人に1人に起きている。**未来を担う子どもたちが食べることで決してひもじい、空腹な思いをしないように、何とかスピード感を持って取り組んでいただきたい。**

※子ども食堂…地域の子どもたちや保護者などを対象に食事を提供する場（コミュニティ）のこと。



昨年からの訴えが実現に結び付きました！

昨年10月2日の決算特別委員会で保健福祉局に対し、「**駅員不在時でもエスカレーターの自動運転ができるように、神戸市から阪神電車に要望できないか**」と質疑をしました。

その後も阪神電車へ要望を継続してきた結果、ついに10月1日から、**阪神電車（魚崎・青木・深江駅）の区内3駅において、始発から終電までのエスカレーター終日運転が実現**しました。

今後も、**阪神住吉駅へのエレベーター設置の実現に向けて、粘り強く訴え続けて参ります。**

終日運転前



実現後



2019年秋号



子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市議員 **やのこうじ** (東灘区選出)

事務所：神戸市東灘区御影中町2-8-3-207
 TEL/FAX 078-841-2255
 yano.koji2018@gmail.com
 ホームページ http://yano-koji.com/

編集・発行：立憲民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和2年 第2回定例市会【9月議会】開催 日程(9月18日~10月28日)

新型コロナウイルス感染症が、神戸市内においても継続的に発生している状況から、「withコロナ」時代における市民生活や市内事業者の経済活動を支えていくために、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算（第3弾）が成立しました。

4つの柱の内容に対して、82億4,700万円が編成されています。

引き続き、市民のみなさんの安心安全につなげていけるように、意見反映に努めて参ります。

補正予算の4つの柱

① 検査体制の強化及び医療体制の安定的確保

- 不安を抱える妊婦への分娩前PCR検査の実施【1億2,300万円】
- 新型コロナウイルス専用健康相談窓口（24時間体制）【1億5,800万円】や、軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の通年化【10億700万円】
- 児童福祉施設【11億300万円】や公立幼稚園【1,700万円】における消毒液、パネル等の感染防止対策備品購入費等の補助（1施設当たり50万円）

② 市民生活の支援と新しい生活様式への対応

- 児童生徒1人1台のノートパソコンの導入【17億3,700万円】
- 小中学校（小6・中3）における、休業期間中に生じた学習の遅れを補うための教員の追加配置【1億1,100万円】

- 障がい者の就労継続への支援（生産活動収入が減収している事業所と利用者へ）【1億1,400万円】

③ 経済活動の支援

- 市民を対象としたプレミアム付宿泊等クーポンの抽選販売、KOBE観光スマートパスポートの市民限定半額割引販売【2億5,300万円】
- 「六甲・有馬アート・ナイト・プロジェクト」や有馬温泉の魅力発信【2,000万円】
- 中小企業奨学金返済支援制度の拡充【3,000万円】

④ 災害復旧等の喫緊の課題への対応

- 令和2年7月「梅雨前線豪雨」による災害箇所の復旧【10億5,400万円】

代表質疑(9月29日)

本会議で、会派の代表質疑を務め、市長、副市長、教育長、交通局長に見解を伺いました。



1. 市バス・地下鉄の感染拡大防止対策について

やの質問 利用者の方々が、安心して神戸市バスと地下鉄をご利用できるように、**抗ウイルス・抗菌加工を実施**してはどうか。

交通局長答弁 お客様に少しでも安心して御乗車いただくために、市バス・地下鉄においても**できるだけ早く実施**をしていきたい。

やの要望

今後の感染拡大期の襲来に備え、交通局の**マスクやアルコール等の必要な備品の備蓄**をしっかりとお願いしたい。



2. 認知症「神戸モデル」について

やの質問 今後、安定してこの制度を運営するためにも、運用開始から1年が経過したことを踏まえて、検証をすべきと考えるが見解を伺いたい。

市長答弁 診断助成制度は、現在、医師会の協力により制度開始後1年間の実績をまとめているところで、この実績による検証も踏まえ、認知症神戸モデル全体についての検証を行い、令和4年度以降の対応を検討していきたい。

やの質問 認知症に関する総合電話相談窓口「こうべオレンジダイヤル」の1年間の利用実績と市民に対するの広報などの取組状況を伺いたい。

副市長答弁 令和元年度の相談受付件数は799件。チラシを作成し、診断助成制度の申込者や、あんしんすこやかセンター、民生委員・児童委員、地域団体まで幅広い方々に向けて周知している。



やの要望

私が暮らす御影中町地区は、年中無休のラジオ体操やランドゴルフ、コーラスや輪投げなど、様々な行事を通して高齢者が顔を合わす機会を確保し、認知症にならない、認知症を遅らせるための取り組みが盛んに行われている。

儀礼的なあいさつでなく、お互いに気付きあえる関係が、他の地域でも積極的に取り入れられるような周知活動もお願いしたい。

また、認知症になられた方やそのご家族を孤立させることなく寄り添っていくことで、認知症の人に優しい神戸のまちとなるように、引き続き各種施策の推進も重ねて要望する。

やの質問 コロナの感染拡大に伴い、出控えによる社会的孤立や筋力の低下など、新たな課題も生じている。健康寿命を延ばすフレイル対策が、重要な取組であると考えている。

副市長答弁 好評を得ている「KOBEO元気!いきいき!!体操」のテレビ放映も継続するなど、今後も新しい生活様式の視点を踏まえたフレイル予防を推進していきたい。
※KOBEO元気!いきいき!!体操…毎週土曜日
午前10時から10時半にサンテレビで放送中

こうべオレンジダイヤル
078-262-1717
受付時間：月曜～金曜日（9時～17時）
※土日、祝祭日、年末年始を除く

フレイル 健康寿命へのキーワード

「フレイル」とは、病気ではないけれど、年齢とともに全身の予備能力、筋力や心身の活力が低下している状態を言います。適切な食事と運動で再び良好な状態に戻して、健康に過ごしましょう。

フレイルセルフチェック

3つ以上に当てはまると要注意

- 体重の減少 (6か月間で体重が2〜3kg減少した)
- 疲労感 (以前より疲れやすくなった)
- 身体活動の低下 (外出しなくなった、人との交流が減った)
- 能力低下 (ペットボトルのふたを開けにくくなった)
- 歩行速度の低下 (歩行速度を測定した)

フレイル予防 ずっと元気いるために

「フレイル」は毎日の生活習慣で予防や回復が可能です!! 今からでも遅くはありません! 少し休んでもこつこつ継続することが大切です。

生活習慣を見直そう

外に出て、いろいろな年齢の人と話す機会を持ちましょう。

定期的に体重を量って、食事が不足していないか確認しましょう。特に筋肉をつくるタンパク質や、牛乳や乳製品を上手に取りましょう。

心臓や肺の機能を高めるウォーキング、筋力を高めるかかとを上げるなど、軽い運動から始めて、すこしずつと増やしていきましょう。

3. 今後のICT教育の取組について

やの質問 教員の負担軽減や児童生徒がスムーズにICT学習に移行できるように、ICT支援員の全校配置を目指してサポート体制の強化に努めるべきだと考えるがどうか。

教育長答弁 子どもたちの学びが充実するように、支援員をはじめ、様々な手段によりトータルとしてしっかりとサポートを行っていききたい。

やの質問 デジタル教材が導入された際に、ネット環境のない家庭や学童保育や児童館などで宿題をしている児童への対応を心配する声もとどいている。宿題等の持ち帰りの学習のあり方について、どのような想定をしているのか。

教育長答弁 放課後等にインターネットに接続して学習ができる場所を学校内に設けたり、宿題等を学校で事前にダウンロードできる仕組みが必要ではないかと、現在検討を行っている。

やの要望

小中学校の約11万人近い児童生徒への1人1台の端末配備後には、細々としたトラブルが起こり得ることが予想される。トラブル続きで子どもたちの学習意欲が低下することがないように、特に小学校1年生など低学年を中心に、きめ細やかなタイムリーなサポート体制の構築をすると共に、神戸の子どもたちに大きな負担として決してのしかかることがないように強く要望する。



令和2年度 決算特別委員会 (9月30日～10月16日)

令和元年度の神戸市各会計決算を審議のうえ承認しました。私は、決算特別委員会の第3分科会において、「教育委員会」と「こども家庭局」に対し質疑を行いました。質疑の様子は、記載のQRコードからご覧いただけます。

教育委員会への質疑 (10月7日)



質疑の様子

1. スクールサポートスタッフについて

質問 全校生が350人以下の学校も含めて、全ての学校へのスクールサポートスタッフの配置について見解を伺いたい。

要望

スクールサポートスタッフは、学校現場から非常に人気のある加配の1つなので、何とか全力で全校配置を要望する。

※スクールサポートスタッフ：学校への来客・電話対応や学習プリント等の準備など、教員が子どもの学びの保障に注力できるよう支援するスタッフ（現状の勤務時間は、午前8時からの4時間で、現在180校に配置）

答弁 教職員の能力が十分に発揮できるように、スクールサポートスタッフの配置も含めて、総合的な施策の展開を図ってまいりたい。



2. 熱中症対策について

質問 給食調理室のエアコンの設置状況が全国平均よりも下回っている。今後、特別教室や小学校体育館へのエアコンの設置の際に、給食室も併せて設計作業を行うことで、より早く給食室へのエアコン設置も実現できるのではないか。

要望

いまだにエアコンが全室設置されていない公共施設というのは、もう学校ぐらいではないか。日本の夏の学校園における子どもたち全ての命を守るために、早急に取組をお願いしたい。

答弁 今後も、教室と併せて、順次管理諸室（会議室や給食室等）も整備をしていきたい。

3. 英語教育の推進について

質問 2022年度をめどに、小学校5・6年で教科担任制を本格導入するため、教員確保策を具体化する提言も盛り込まれており、今後はALTを増員するよりも、英語専任教員を増員して、子どもたちの状況に合わせた授業を柔軟に行える体制を整えるべきではないか。

要望

将来の教科担任制を視野に入れながら、子どもたちのより分かる英語の授業のためにも、教員との事前の打合せがしやすい英語専任教員の増員を、引き続きお願いしたい。

答弁 充実した授業ができる効果が大きいので、今後も国の動向を注視しながら、英語専任教員配置の拡充に努めてまいりたい。

こども家庭局への質疑 (10月9日)



質疑の様子

1. こべっこあそびひろば六甲アイランドについて

質問 子どもたちの情操教育を進めていく上で、絵本の果たす役割は非常に重要であると考えている。新設されるこべっこあそびひろばにも、絵本コーナーの充実を図るべきではないかと考えるが見解を伺いたい。

要望

文化スポーツ局にも伝えているが、例えば自動図書貸出機や書籍の貸出しコーナーを設置するなど、こべっこあそびひろばで遊ぶ、そして本の貸し出しもできる素敵なセットの検討もお願いしたい。

※こべっこあそびひろば六甲アイランド…学齢前の子どもたちが、天候を気にせず室内で安全に遊べる施設。(ファッションプラザ内に、来春開設予定)

